

概要

LOCATION ANALYZER LA-310は、10M ~ 2500MHzの広帯域電界強度計です。無線通信用測定器として、電界強度と周波数が測定できます。

別売のRF発振器と組み合わせて『基準値(0dB)を設定』して、同軸ケーブル回線や周辺機器の点検、調整用として活用できます。(通過ロスを測定)

広帯域電界強度計は、ワイヤレスマイクの点検、同軸ケーブル回線の点検確認、同軸ケーブル回線上に接続される周辺機器の導通チェック、電界強度の測定、アンテナの相対利得の測定、無線機器の送受信確認、不特定発振器の検知などいろいろな測定や点検に活用できます。(測定内容に応じてRF発振器と組み合わせ測定)

主な特徴

10M ~ 2500MHzの広い周波数で使用できます。

測定に応じて目的外の周波数をカットするフィルタを装備しています。(90MHz LPF, 100M ~ 170MHz BPF, 330MHz HPF)

内蔵の周波数カウンターにより測定周波数が直読できます。

アルカリ乾電池で10時間以上の連続使用が可能です。

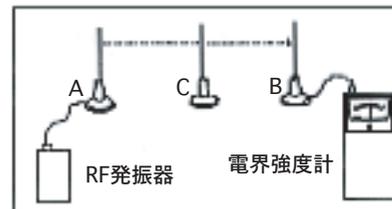
電池の消耗をお知らせする機能として、カウンターの小数点が点滅します。

小型軽量で持ち運びに便利。 電池装着時約1kg

仕様

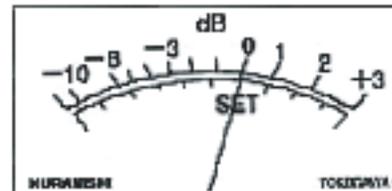
測定周波数	10M ~ 2500MHz (スルー、90MHz LPF, 100M ~ 170MHz BPF, 330MHz HPF)
測定レベル	-30 ~ 0dBm(83 ~ 113dB μ / 1500MHz以下)
追加アンプ	アンプスイッチONで約20dB測定感度が上がる
減衰器	最大30dB(スルー、10dB, 20dB / 定量減衰 1500MHz以下)
直接入力	max1V(0.6Vクリッピング)
コネクタ	BNC形(F形は、付属の変換コネクタ BNCP-FJを使用する)
カウンター部	6デジタル7セグメントLED 周波数分解能 10kHz(FAST) 1kHz(SLOW)
電源	電池使用時 単3型乾電池 6本(9V)、外部電源 8 ~ 12VDC
寸法	80 × 177 × 60 mm
重量	約1kg(電池装着時)
付属品	外部電源用プラグ付DCコード、変換コネクタ BNCP-FJ、製品保証書、ロットアンテナ、ハンディストラップ

○ 参考使用例

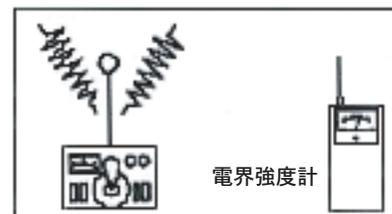


アンテナの相対利得測定
A点、B点のアンテナを1/4 アンテナにして、電界強度計の受信信号(RF発振器からの信号)をメータ上の0dB点に設定する。

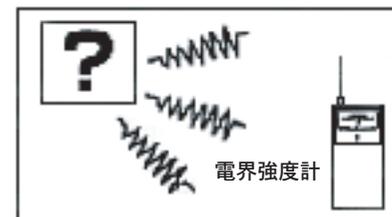
- (1) A点のアンテナを5/8, 1/2 に換えてメータの振れを測定すれば、アンテナの送信効率の差が判る。
- (2) B点のアンテナを換えてみれば、受信効率の差が判る。
- (3) C点(A点とB点の間)に非接続の1/4 アンテナを入れて位置を動かせば導波器の原理が判る。



μ W級の電力測定
スルー状態でSG(標準信号発生器)の信号を入力。0dB点に任意の入力として -10dBm(100 μ W/103dB μ)を設定すれば絶対値測定ができます。



RFリモコン、ラジコンの出力比較
プロボの出力比較が周波数直読でできます。プロボ内蔵電池の電圧低下による出力低下の確認ができるため、いつも最適な状態でコントロールすることができます。



不特定発振器の探査
マルチバンドのFOXハンティングができます。電界強度計に装備されているフィルタを活用すれば目的バンドでの効率がアップします。デジタル信号などで拡散モードを採用している場合は、搬送波を直接周波数カウンターで測定することができません。
** メータでの信号強度の測定は、できます。